

株式会社 パル技研

生産電子システム技術科平成16年度修了生 桐島 広文 開発設計課 第一開発係勤務

◇能開大生はものづくりにこだわりを持っています。

開発設計課 第一開発係長 岡田 英二 氏



当社は、電子機器の開発、製造を行っています。特に、マイクロ波センサーや高速画像処理ユニットなど、ニッチな分野でお客様の要望に応じて設計開発から製造までを行い、オンリーワン商品を提供しています。

桐島君の所属している開発設計課第一開発係では、画像処理ユニットの受託開発をしています。具体的には、お客様から開発費をいただいて基板を開発し、量産して供給する、その最上流にある設計開発部門です。

第一係には8名のメンバーがいて、2、3人で一つのプロジェクトに関わっています。兼任する者もいますので、第一係で3～5本のプロジェクトが

走っています。

桐島君は今、一つのプロジェクトのリーダーをやっています。仕事の仕方が大変きめ細かく、きちんとした報告がいいタイミングでされるので安心して任せられます。学生の時開発課題のリーダーをやっていたと聞いていますが、そういう経験が役立っていると思います。学生時代にソフトウェアやハードウェアのものづくりの経験をしているので、その経験が入社してから大変役立っています。入社4年で主任に上がり、パル技研で最年少の技術職になりました。それだけの成果を出しており、周囲も期待以上にすごいなと感じています。将来はパル技研の幹部になるものと楽しみにしています。

四国能開大生は当社に3名入っています。全員ものづくりが好きでこだわりがあります。ものを作っているとどうしても壁にぶつかる。それを乗り越えるためのガソリンとなるのが、ものづくりが好きだという気持ちだと思います。そういう意味で、四国能開大にはものづくりの楽しさ、達成感というものを学生が味わえるような環境や内容を提供し続けて欲しいと思います。

■株式会社パル技研概要

設立 1992年

資本金 1,000万円

住所 〒761-0301 香川県高松市林町2-2-17番地2

従業員数 41名

主な事業内容

マイクロコンピュータ応用システムのハードウェア、ソフトウェア開発・製作、産業用電子制御装置・検査装置開発・製作、OEM製品供給、画像処理システムの開発・製作。

「ニッチな分野でオンリーワン商品をつくる」をビジョンとして、高いデジタル技術力を駆使してオンリーワン商品を開発し、提供。